

目 次

「臨床薬理」 第 42 巻 第 3 号 2011 年 5 月

第 32 回日本臨床薬理学会年会予告 (4) 89E

原著

臨床試験と日常臨床における関節リウマチ患者背景の比較..... 盛田 和紀ほか...111

フォーラム

ネットワーク治験における「訪問 CRC」の有用性

—愛媛大学病院における検討—..... 山崎知恵子ほか...117

大学病院医療情報ネットワークが運営する UMIN 臨床試験

登録システム (UMIN-CTR) への模擬登録体験を利用した,

臨床研究に関する標準化研修教材の作成..... 松本 直樹ほか...121

第 31 回 日本臨床薬理学会年会記録

目次..... 129

シンポジウム 3 細胞治療..... 133

シンポジウム 9 トランスポーター研究の臨床薬理..... 143

シンポジウム 14 我国における臨床試験の活性化をめざして..... 155

シンポジウム 15 第 8 回 日本臨床薬理学会/日本薬理学会 共催シンポジウム:
分子標的薬とゲノムバイオマーカー..... 165

シンポジウム 18 病態時の薬物動態試験推進における臨床薬理の役割..... 171

シンポジウム 19 CKD と新たな治療戦略..... 183

シンポジウム 23 精神科オーダーメイド薬物治療の展望..... 195

医薬品情報

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 278 91E

日本医学会だより (No. 45) 93E

投稿規定..... 95E

おしらせ

第 14 回臨床薬理専門医試験要項, 第 11 回認定薬剤師試験要項, 第 8 回認定 CRC 試験要項..... 97E

臨床薬理専門医更新手続き, 認定薬剤師更新手続き..... 103E

専門医制度委員会からのお知らせ (専門医認定・指導医委嘱・研修施設認定の更新,
新規指導医の公表)..... 105E

認定薬剤師制度委員会からのお知らせ (細則一部改定, 認定薬剤師認定・指導薬剤師委嘱・
研修施設認定の更新)..... 106E

2011 年度日本臨床薬理学会「臨床薬理研究振興財団賞」の募集について..... 107E

CP&T 誌の 2011 年度購読について 他..... 110E

PROCEEDINGS

第31回 日本臨床薬理学会年会記録

日時 2010年12月1日(水)~12月3日(金)

場所 国立京都国際会館(京都)

会長 乾 賢一(京都大学名誉教授, 京都薬科大学学長)

- シンポジウム3: 細胞治療**……………(座長) 前川 平, 木村貴文
 座長のまとめ……………木村 貴文ほか…133
 1. がん特異的 T 細胞輸注療法の新展開……………池田 裕明…135
 2. 難治性骨壊死疾患に対する間葉系幹細胞を用いた臨床試験……………青山 朋樹ほか…137
 3. iPS 細胞を用いた網膜疾患治療……………高橋 政代…139
 4. iPS 細胞研究の現状と課題……………青井 貴之…141
- シンポジウム9: トランスポーター研究の臨床薬理**……………(座長) 家入一郎, 阿部高明
 1. ヒト腎薬物トランスポーターの臨床薬理……………本橋 秀之…143
 2. *SLCO2B1* 遺伝子多型の意義を考える……………安東 幸恵ほか…145
 3. 尿管排泄機構と尿毒症物質: トランスポーター発現制御による腎不全治療……………鈴木 健弘ほか…147
 4. 新規ヒト電位駆動性有機酸トランスポーター NPT4 (*SLC17A3*) による薬物輸送……………安西 尚彦…149
 5. クロピドグレルとチクロピジンの抗血小板効果に及ぼす CYP2C19 遺伝子多型の影響の違い……………前田 章光ほか…151
 6. 遺伝子多型に基づく「個の医療」を目指して:
 結核治療における多施設タンダム化ファーマコゲノミクス試験……………大野 雅子ほか…153
- シンポジウム14: 我国における臨床試験の活性化をめざして**……………(座長) 渡邊裕司, 楠岡英雄
 座長のまとめ……………楠岡 英雄ほか…155
 1. 国立病院機構における臨床試験の現状と将来像……………伊藤 澄信…157
 2. 医師主導治験の実施支援について……………山本 学…159
 3. 千葉大学医学部附属病院における臨床研究の推進に向けた取組み……………花岡 英紀ほか…161
 4. わが国における臨床試験の活性化を目指して —厚生労働省の取組み—……………佐藤 岳幸…163
- シンポジウム15: 第8回 日本臨床薬理学会/日本薬理学会 共催シンポジウム:**
 分子標的薬とゲノムバイオマーカー……………(座長) 辻本豪三, 檜垣實男
 1. 消化器領域における分子標的薬のゲノムバイオマーカー……………古田 隆久ほか…165
 2. ファーマコゲノミクスの為のバイオマーカー探索……………辻本 豪三…167
 3. オミックス創薬科学とターゲットバリデーション……………田中 利男ほか…169
- シンポジウム18: 病態時の薬物動態試験推進における臨床薬理の役割**……………(座長) 野元正弘, 立石智則
 座長のまとめ……………野元 正弘ほか…171
 1. 適応患者における臨床薬物動態情報収集の意義 —審査の立場から—……………佐藤 玲子…173
 2. Opportunities and Challenges of a University-Based Phase I Research Unit
 —Experience at the University of Miami—……………Richard A. Preston…175
 3. 病態時薬物動態試験の現状と課題……………野元 正弘…179

4. 病態時の薬物動態試験を企画する立場から……………岩崎 幸司…181

シンポジウム 19：CKD と新たな治療戦略……………（座長）土井俊夫，齋藤秀之

- 座長のまとめ……………土井 俊夫ほか…183
1. CKD とは：概念と基本的な治療戦略……………柏原 直樹…185
2. 心腎連関の基盤病態としての血管内皮機能障害……………上田 誠二ほか…187
3. 糖尿病性腎症のターゲットと治療戦略……………安部 秀斉…189
4. 腎障害とミネラルコルチコイド……………長瀬 美樹…191
5. RAS 阻害薬を使用した新しいコンセプトによる CKD 戦略……………西山 成…193

シンポジウム 23：精神科オーダーメイド薬物治療の展望……………（座長）下田和孝，染矢俊幸

- 座長のまとめ……………下田 和孝ほか…195
1. 統合失調症治療における非定型抗精神病薬の副作用予測に関する研究……………鈴木雄太郎ほか…197
2. 抗うつ薬の反応予測因子としての薬理遺伝学的アプローチの可能性……………加藤 正樹…199
3. 統合失調症治療における臨床薬理遺伝学……………古郡 規雄…201
4. 不安障害のオーダーメイド薬物治療の展望……………渡邊 崇ほか…203